

**3月1日開催「2030年を見据えた日本の国際協力 NGO の役割」  
外務省 平成 30 年度 NGO 研究会 成果報告シンポジウム  
ご参加のお願い**

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム（東京都千代田区／以下、JPF）を含む有志グループ「NGO2030」※（以下、「NGO2030」）は、3月1日（金）、衆議院第一議員会館国際会議室において、外務省の NGO 環境整備事業「外務省平成 30 年度 NGO 研究会」の委託を受けて構築したビジョン、「2030 年を見据えた日本の国際協力 NGO の役割」の成果報告シンポジウムを開催いたします。

戦後最悪と言われる人道危機、気候変動により頻発する自然災害などにより、世界で支援を必要とする人々の数は増加しています。従来の支援方法や支援関係者だけでは対応できない状況の中、国際協力 NGO と様々なステークホルダーとのパートナーシップは益々重要になってきています。変化する国内外の情勢や人道・開発支援が置かれる状況など、NGO を取り巻く環境変化を踏まえ、私たち自身も大きく変革しなければなりません。

日本の国際協力 NGO は、その活動において各ステークホルダーの「戦略的パートナー」になることができているのか。日本の NGO の優位性として打ち出すべき部分はどこなのか。それらを育てるためにはどのような政策や取り組みが必要なのか。「NGO2030」は、国内外の文献精査を通して、社会環境の変化や NGO への影響をインセプション・レポートとして取りまとめると共に、NGO と関わる様々なセクター（企業、ユース、学术界、国際機関、メディア、外務省、国会議員、NGO 等）との意見交換会を実施して参りました。

今般、それらの成果を日本の国際協力 NGO のあるべき姿への提言として報告書にまとめましたので、まさに共に課題解決をするパートナーとなっていただきたい皆さんと広く共有し、さらなる議論を深めるべく、シンポジウムを開催いたします。ご多用の折と存じますが、是非ご参加賜りますようお願いいたします。

※「NGO2030」は、外務省の平成 30 年度 NGO 研究会の委託を受けて、ジャパン・プラットフォーム、国際協力 NGO センター、SDGs 市民社会ネットワーク、JEN、CWS Japan、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの、日本国際交流センター（以下、JCIE）主催訪米ミッション（2015 年度・2017 年度）参加者が中心となり立ち上がりました。その後、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが NGO 研究会受託団体となり、「NGO2030」各有志と共に、2030 年を見据えた日本の国際協力 NGO のあるべき姿や役割に関するビジョン策定を目的に、約 1 年間の活動を進めてまいりました。

**シンポジウム「2030 年を見据えた日本の国際協力 NGO の役割」  
平成 30 年度 NGO 研究会 成果報告**

**【開催概要】**

- 日時：2019 年 3 月 1 日（金）15:00-18:00（開場 14:30）
- 会場：衆議院第一議員会館 国際会議室
- 主催：外務省 平成 30 年度 NGO 研究会
- 協力団体：有志グループ「NGO2030」（特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム、特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター、一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク、特定非営利活動法人 JEN、特定非営利活動法人 CWS Japan、公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）
- 言語：日本語・英語（同時通訳あり）

**【プログラム】**

- 15:00-15:05 開会挨拶  
NGO2030 代表 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 専務理事・事務局長 千賀邦夫
- 15:05-15:10 外務省挨拶  
外務省 国際協力局・中東アフリカ局アフリカ部 参事官 紀谷昌彦 (NGO 担当大使)
- 15:10-15:35 基調講演  
国際ボランティア団体協議会 (International Council of Voluntary Agencies – ICVA)  
アジア・太平洋地域代表 ジェレミー・ウェラード
- 15:35-15:45 NGO2030 活動概要  
NGO2030 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシーマネージャー 堀江由美子
- 15:45-16:10 最終報告書概要 (活動を通じた提言)  
NGO2030 ジャパン・プラットフォーム共同代表/CWS Japan 事務局長 小美野剛
- 16:10-16:20 休憩
- 16:20-17:25 パネルディスカッション  
2030 年に向けた国際協力 NGO と他セクターとの連携のあるべき姿とは?  
パネリスト: ジェレミー・ウェラード (ICVA)  
田村暁彦 (政策研究大学院大学教授)  
圭室俊雄 (武田薬品工業株式会社コーポレート・コミュニケーションズ & パブリックアフェアーズ、CSR ヘッド)  
渡辺早希 (宇都宮大学大学生)  
モデレーター: 「NGO2030」 ジャパン・プラットフォーム 緊急対応部長 柴田裕子
- 17:25-17:45 質疑応答
- 17:45-17:55 政府機関から見る NGO とのパートナーシップ、国際協力 NGO への期待  
外務省 国際協力局 民間援助連携室 室長 佐藤靖
- 17:55-18:00 閉会コメント  
公益財団法人 日本国際交流センター 専務理事・事務局長 勝又英子

●参加お申込み方法: 2月25日(月曜)までに、[オンラインによる登録](#)をしていただくか、以下Eメール宛に、件名を「3月1日 NGO 研究会シンポジウム」とし、ご氏名、ご所属、役職、ご連絡先をご連絡下さい。

お問い合わせ先

(公社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 担当: 川口

Email: [mami.kawaguchi@savethechildren.org](mailto:mami.kawaguchi@savethechildren.org) Tel: 03-6859-0015

#### ■ ジャパン・プラットフォームについて

日本の緊急人道支援の新しいしくみとして 2000 年に誕生。NGO・経済界・政府などが対等なパートナーシップのもとに連携し、迅速かつ効率的に国内外の緊急支援を実施するため、日本の JPF 加盟 NGO を様々な形でサポートしている。設立以来、総額 540 億円以上、47 の国・地域における、1,400 以上の事業実績、企業と NGO の協業の促進、しっかりとした活動報告により信頼を築いてきた。各得意分野を持つ 42 の JPF 加盟 NGO と情報を共有し、ともに支援プロジェクトをつくる。民間から総額 70 億円以上が寄せられた東日本大震災支援では、被災地の地域連携・中間支援組織とともに地元 NGO をサポートし、復興の体制整備に貢献している。